

菜の花だより

【発行】東海みなみ日本共産党後援会（部内資料）
2009年2月 東海村村松24 01-2
TEL/FAX 029-284-0761 大名美恵子気付

くらし、雇用、輸入米、温暖化…

2009年 力あわせ国民最優先の政治を

ごあいさつ



大名美恵子議員

「明日は自分がホームレス。人間扱いではない…」と、怒りと悲しみのなか仕事や住居をもたないまま新年を迎えた方が何と多かったことでしょう。政治は、こんな状況を許してはなりません。

首切り撤回を求めて立ち上がった労働者とこれを支援する国民世論、日本共産党の国会論戦や経団連との会談、いすゞ、トヨタなどへの申し入れは、マスコミや国を動かす力となりました。

厚生労働省は、「労働基準局長通達」と「職業安定局長通達」の発出、パンフレット『厳しい情勢下での労務管理のポイント』を発表し、自治体には「緊急経済・雇用対策本部を設置」等、求めました。これを受け村では、昨年12月29・30日とセーフティネット保証（緊急保証）の年末受付業務を実施しました。

そして、いすゞは、中途解雇の撤回を発表しました。

昨年大晦日に開設された日比谷公園「年越し派遣村」は、労組・市民団体などでとりくまれ、寒空のなか職・住を失った労働者を支援、国への支援要望も強められました。

今年はいよいよ総選挙の年です。「派遣切りを止めよ」と迫った志位和夫委員長の国会論戦、今や非正規労働者にとって日本共産党は命綱になっています。政治を何よりも人を大切に政治へ、その役割を發揮する国政へと大本を変えなければなりません。

日本共産党を、確かに躍進さしていただけますよう、どうぞよろしく願います。

怒り爆発の後期高齢者医療制度

村は新年度、保険料への助成案を決意

「お年寄りいじめのひどい制度」と、当初から批判が多かった後期高齢者医療制度。党村議団は、毎議会、「制度は撤回すべき」、「当面、保険料助成を」と求めてきました。村はどうも、新年度、一般財源をあてて保険料への助成をおこなうことを決めました。

国の軽減策に該当する方は、自己負担分の半額を、軽減策に非該当の方は、一律15,000円助成する案です。

しかし、「廃止してほしい!」、これが住民の声です。



子どもの医療費中学卒業まで無料に

茨城県に準じた現物給付で

新年度から中学卒業まで医療費の無料化が予定されています。加えて、現行の償還払い（一旦、病院で医療費を払い、領収書を役場に持参する）から、県に準じた現物給付に変わります。方法は、「1医療機関について、1ヵ月内1回600円までを、2回までは病院で一旦払う。この分は自動的に口座に振り込まれる。これ以上かかった分は窓口で払わなくてよい」

こととなります。新年度当初、該当者は、申請諸手続きを役場でおこないます。しかし、子どもの受診には、「窓口での負担無し」の完全な現物給付が重要です。



国保税が変わり、低所得者が負担増に

固定資産税賦課の廃止、応益割を10%引き上げ

40数年ぶりに国保が変わります。制度の変更で重要なのは、低所得者の負担増は避けることです。そのためには何よりも、減らし続けてきた国の負担分を大幅に引き上げることです。安心して医療が受けられるために、特に低所得者の保険料引き上げは止めるべきでした。



介護保険料は引き上げを検討している

一般財源をあてよ、党村議団一貫して主張

本村は、「サービス利用率が高い」、「高齢化率が低い」、「高齢者の所得がやや高い」などの理由で、国の負担金の一部が減額されます。このままでは新年度からの保険料は5,160円に。村は、一般財源を充てて4,190円にする考えです。今でさえ3,980円と高い保険料。引き上げは、一切止めるべきです。

総選挙の年

日本共産党は、北関東ブロックで、現在塩川てつや衆議院議員の1議席のみです。今度の総選挙で、なんとしても2議席以上の確保をめざします。みなさまのお力ぞえをどうぞよろしくお願いいたします。

東海村は...

投票方法

投票は3種類

- (1)小選挙区選出議員選挙 ... 候補者名を書いて投票
- (2)比例代表選出議員選挙 ... 政党名を書いて投票
- (3)裁判官国民審査 ... 裁判官ごとに行われ、辞めさせたい意思があれば×印を、なければ何も記載せずに投票



小選挙区 茨城第4区
(日本共産党の候補者はいません)

比例代表 北関東ブロック
(政党名で投票します。候補者名を書くと無効になります。)

政党名の投票数により、塩川てつや 綾部すみ子 田谷たけおのように、順に議席確保となります)

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。

厚生労働省が「非正規切り」防止のための通達を発表。いすゞやマツダなどで期間社員や派遣労働者の解雇を撤回！労働組合を作って頑張っているみなさんのたたかいと、志位委員長や塩川衆議院議員を先頭にした日本共産党の取り組みによって、「働くものを使い捨てにする」大企業のやりかたに反撃が始まり、政治を動かす一歩が踏み出されました。

「アメリカ発の経済悪化のつけを、何の責任もない国民や中小企業に回させてはならない」日本共産党の『緊急経済提言』を持ち、この間、医療や介護 障がい者施設 商工業 建設関係など幅広い分野の方々と懇談してきました。どこでもみなさんがぎりぎりの所で頑張り、国の政治のありかたを変えたいことを願っています。

総選挙でどうしても前進を勝ち取り、雇用・営業と暮らしを守り抜くため、全力で頑張ります。

塩川てつや あやべ澄子 田谷たけお

ごあいさつ



衆議院議員

塩川てつや



党北関東ブロック
国政対策委員長、
埼玉県委員

あやべ澄子



党准中央委員、
茨城県委員長

田谷たけお

今年も、菜の花会を宜しく申し上げます

(東海みなみ日本共産党後援会)

菜の花会 世話人 寺門利之

菜の花会は、住民の安全・安心な暮らしのために奮闘している大名みえ子議員とともに、村民本位の村政を！国民一人一人を大切にする国政を！と、会員相互の親睦をはかりながらとりくみをすすめています。

大名議員から、村政のようすや国政の問題点などをわかりやすくお話していただいて、とりくみの力にしています。

今、住民の雇用と暮らしを守るとりくみがとても重要です。

今年も、日帰り温泉旅行など、楽しい企画をたてながらすすめてまいります。新会員を増やすなど、ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

おすすめしています
しんぶん赤旗

日刊紙
月2,900円

日曜版
月800円